

街のヒーロー・ヒロインを探せ！

地域にいるすごい人を ドキュメンタリーにしてみよう！

上田市立 清明小学校

5年1組

街には自慢できるすごい人がいる！
地域の人たちのドキュメンタリーを制作。
取材から撮影、編集まで自分たちで行い
地元の魅力を再発見しました。

取り組みの流れ

総合的な学習で映像制作

4年生……創作ドラマ作りを体験

5年生……テーマは「地域」
「街のヒーロー（ヒロイン）を探せ」
ドキュメンタリー作りを計画

5月

取材する人を決める

保護者に学級通信で協力を依頼
●取材する人の紹介
●使用するカメラ、有無の確認

6月

ドキュメンタリーの目的を考え、
誰を、どんな場面で、
どんな質問をするのかを検討

取材のお願いの言葉も考える

取材方法、取材内容、
インタビューの仕方
ビデオの撮り方を学習

練習 家族のドキュメンタリー
「家族のヒーローを探せ」制作



ビデオ取材・編集

ねらい

「こんな人がいたな」「あんな話を聞いたな」と
いつか思い返してくれればいい

地域の人たちと関わると、学校の中だけでは
得られないものが得られます。地域とつ
ながることで、私たち職員も様々な経験をさせ
てもらっています。

そんな地域には必ずすごい人がいるものです。
伝記に出ている人だけがすごいわけではなく、日々
まちのために頑張っている人、自分たちを見守って
くれている人がいて街が成り立っている。ドキュ
メンタリー作りを通して、そんなことを感じて
もらいたいし、その人たちの思いを聞いてもらいたいと思いました。

子どものうちに経験したことは、すぐに役に立たなくても将来に必
ずつながっていきます。だから大人になったときに、地域にこんな人
がいたな、あんな話を聞いたな、と思い出してもらえただけでもいい。
故郷を愛せる子に育て、未来の地域を支えてほしいですね。



清明小学校
5年1組 担任
平林 浩 先生

7月

地元ケーブルテレビの協力

取り組みを取材してもらう
ビデオカメラの貸し出し

カメラとインタビューのコツを
アドバイスしてもらう



インタビューの事前練習

取材のお願い・許可を取りに行く
保護者にも協力

8月

取材（夏休みの宿題として）

仕事や活動に誇りを持って取り組む
地域の人たち……「取材してもらっ
てうれしい」と大変喜ばれました。

9月

パソコンで編集、試写会

DVD にして完成！

10月

取材した人へお礼、DVD を届ける

12月

地域の人を招き、上映会

ケーブルテレビで作品を放送



5年1組の子どもたちに出された宿題は
「ドキュメンタリー番組の取材」

取材の様子が上田ケーブルビ
ジョンのニュース番組でも紹介
されました。

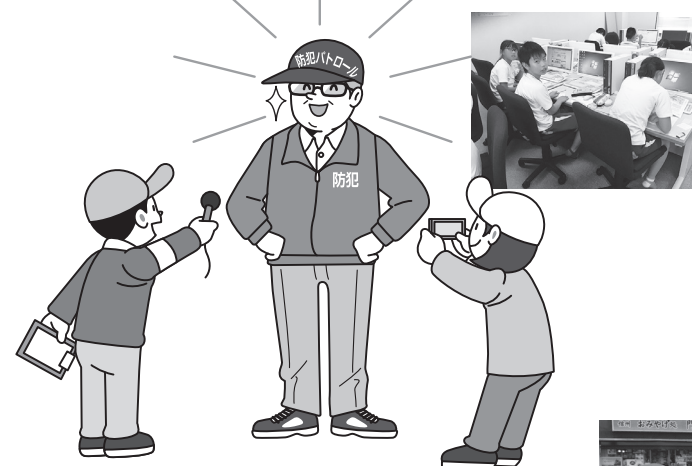
小学生ボランティア新聞 ふろく

ぼくらは子どもディレクター！

*本紙の特集事例をよりくわしく解説！あわせてご活用ください。

先生方へ
やまびこだより
No.142
今号の特集から

番組ディレクターや編集長になって まちの魅力を発信しよう！



上田市立 清明小学校

街のヒーロー・ヒロインを探せ！



松本市立 中山小学校

バスが廃止されても
中山を忘れないで！



事例の概要

手作りの新聞とパンフレットに ふるさとへの思いを込めて

「中山にお越しくささい！」。平成 28 年
9 月、松本市立中山小学校の 4 年生と 6
年生が、松本駅前と松本城公園で地元を
PR するパンフレットと新聞を配布しまし
た。きっかけは市街地と中山を繋ぐ路線
バス廃止のニュースでした。4 年生の新聞
を作る単位と 6 年生のパンフレットを作る
単位を使い、「中山を PR しよう」と取り
組みは始まりました。

「廃線と聞いて、指をくわえて見ている
人にしたくなかった。自分たちにできること
を考えたり、なにか動いてもらいたかった。」
と 4 年生担任の柿沼佑樹先生は当時を振
り返ります。

新聞とパンフレットは、地元の方への取
材や写真撮影など、すべて子どもたちが
行い作成しました。「自分たちも知らないこ
とがあった」「中山の良いところをたくさん
知れた」と子どもたち。取材をするなかで、
地元の良さにたくさん気づくことができた
ようです。

「新聞づくりをとおして、子どもたちも地
域への関心が高くなった」と柿沼先生。「外
へ向けて呼びかけることも大事ですが、子
どもたち自身が「こんなにいい所があるん
だ」と気づいて、大人になったときに戻っ
て来たいと思う気持ちを育てるきっかけに
なれば」と 6 年生担任の今井文先生は続
けます。

見出しには「中山に来てください」「良
い所です！」の文字。中山への熱い想
いが伝わってきます。

街の魅力を再発見！ 地域の人 が主役のドキュメンタリーを制作

上田市立清明小学校 5 年 1 組では「街
のヒーロー・ヒロインを探せ！」をテーマに、
地域の方を主役にしたドキュメンタリーを
制作しました。4 年生のときにクラスで創
作ドラマを作ったのがきっかけです。

「なにかを創ることに対して子どもたちは
とても真剣でした。せっかくなら、制作を
とおして自分たちの住む街のことを知れな
いかと考えました」と話すのは担任の平林
浩先生です。

「地域のために活動してくださっている方
や、頑張っている方など、身近にもヒーロー
やヒロインはたくさんいます。そのような方
がいるから、街が成り立っている。ドキュ
メンタリー制作をとおして、地域の良さを
再発見できればと思い、始めました。」

1 学期には児童一人ひとりが取材をした
い人を決め、夏休み中に撮影に行きました。
地域のために頑張っている自治会長さん
や、毎日見守りをしてくれる安全パトロール
隊の方、地域の環境を守ってくれている方、
など思い思いの「街のヒーロー・ヒロイン」
を取材しました。

ドキュメンタリーの完成後、学校に地域
の方を招待して上映会を行いました。取材
を受けた方からは、「私が伝えたかったこ
とがきちんと伝わっていて嬉しかった」「こ
れからも地域のことに興味を持っていつて
ほしい」など、多くの感想を頂きました。

ドキュメンタリー作品は 12 月には地元
のケーブルテレビでも放送されました。地
域の方の想いは、ドキュメンタリーをとお
して子どもたちへ、そして大人たちにも伝
わっています。

協力：松本市立中山小学校、上田市立清明小学校、株式会社上田ケーブルビジョン（UCV）

発行日：平成29年1月20日 発行：社会福祉法人 長野県社会福祉協議会 地域福祉部 ボランティア振興グループ

〒380-0928 長野市若里7-1-7 TEL.026-226-1882 FAX.026-228-0130

E-mail vcenter@nsyakyu.or.jp URL http://www.nsyakyu.or.jp/



ふっころ

路線バス
中山線

廃線になっても中山を忘れないで

手作り新聞・パンフレットを
配ってふるさとをPRしよう！

「地域のために
何ができる？」
を考えながら…

松本市の南東部を走る路線バス中山線は、近年利用客が減少し、廃線が決定。そのニュースを知った4年生担任の柿沼佑樹先生は、新聞学習のテーマとして子どもたちに「地域のために何ができる？」と課題を投げかけました。地元を盛り上げていこうと、6年生もパンフレット作りの学習とあわせて中山の良さを発信しました。

新聞作り

4年生



NHK番組「for School メディアのめ 工夫がいっぱい！新聞作り」を見て学びました。

- 紙面づくりのポイントは？
- ①見出しづくり
一番伝えたいことを
- ②どんな写真を選ぶか
記事の内容が一目で伝わる写真
- ③配置を決める
重要な記事の順番、どこに置くか

中山の良さを
たくさんの人に
知ってもらいたい！



「中山新聞」はA3判で手書き。
4年生17人が1人1紙を制作。

ねらい

調べて、作って、配って発信！
子どもたちによる“地域おこし”です

中山小学校に赴任して3年目、以前から新聞活用(NIE)の実践を続けています。

今回は中山線の廃線と学区にある考古学博物館の利用率もよくないという新聞記事を見て、学習のテーマに取り上げました。

子どもたちには、バス路線の廃止という地域課題に対して傍観者ではなく、「バスがなくなったらどうする？」と考え、動いてもらいたかったんです。作って配るという目的があったので、見出しの文章や色づかい、写真の選び方など、各自伝えるための工夫をしていました。考古学博物館の取材でも掘り下げた質問をする子もいました。

新聞を作って配ることで、子どもたちは地域への関心を深め、よい地域発信ができたのではないかと思います。



中山小学校 4年生担任
柿沼佑樹 先生

松本市立 中山小学校



配布の日。学校前のバス停から
中山線を利用して松本駅へ。

中山はいいところです。
ぜひお越しください！



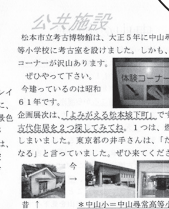
JR松本駅前広場と松本城公園で、
出来上がった新聞とパンフレットを
配りながら、元気よく中山をPR！



「子どもたちが地域のために
がんばっているのだから」と、
公民館の方がPR用のぼり旗
を作ってくださいました。

中山の自然

中山の風景



中山の歴史や文化、
自然、お店、施設など、
それぞれの興味に
沿って夏休みに
取材しました

パンフレット作り

6年生

ねらい

中山を離れても、いつか戻ってきたいな
……と思ってもらいたい



中山小学校 6年生担任
今井 文 先生

4年生が新聞を配布するとい
うので、6年生も一緒に参加
することにしました。

中山の良さを知ってもらいたいと、読む人のことを考えて書いた文章には想いがこもっています。他人事には思えず、自分たちも伝えていかなくては！という気持ちになったのではないのでしょうか。

PRをとおして外に発信するとともに、子どもたち自身が中山に愛着を持って、「こんないいところがあるんだ」と気づき、大人になったときに「ここに戻ってきたいな」という思いを育てるきっかけになればと思っています。



インターネットや本で調べたり、
地域の方からも中山のいい
所を教えてもらったり……。
自ら撮影した写真やイラスト、
地図なども載せ、パソコンを
使ってレイアウトしました。

読んだ人が
喜んでくれると
思いながら作ると
楽しいね。

中山にはこんな
いいところがある
あったんだ。



パンフレットの配布準備。
アンケートはがきも一緒に
配りました。